

# 1

## 【感謝と喜びを】

F B♭ C7 F Gm C7 F  
 感謝と 喜びを 今 主の前に 今 主の前に  
 B♭ C7 F Gm C7 F  
 賛美を 心から 今 主の前に ささげよう  
 Am Gm C7 Dm B♭ C7  
 イエスが 流された 血潮で きよめられ  
 Am Gm C7 F C7 F  
 天に 私の名が 記されている喜び

## 【喜びがある】

喜び 喜びがある  
 口には この歌がある  
 喜び 喜びがある  
 主を ほめよ

## 【主は道を造られる】

G D2/F# C/E G/D  
 主は道を 日々 つくられる  
 C G/B Am7 D  
 何もないように 思える ときでも  
 G D2/F# C/E G/D G/B  
 主は御手で みもとでささえ  
 C G/B Em7 Am7 Cmaj7/D G  
 新しい明日へ 主は道をつくられる

E♭ F E♭/B♭ B♭ E♭ F Gsus4 G  
 天と地が減び失せて も 主のことは減びず  
 C D/C Bm Em C D Bsus4/E  
 荒野に道を 砂漠に川を 今日もつくられる

## 【急ぎゆきて】

急ぎゆきて 拝まずや 急ぎゆきて 拝まずや

オーカムレット アス アドアヒム  
 O Come Let Us Adore Him  
 O Come Let Us Adore Him クライストザ ロード  
 O Come Let Us Adore Him Christ The Lord

# 5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように  
= 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように  
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

## 5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- コロナ禍からの解放・医療従事者と政治判断のため
- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。

## 信仰宣言

「私の家族は全員救われます」  
 「日本にはリバイバルが始まっています」  
 「私も用いられます」  
 「すべての問題は解決します」  
 「することなすこと、みな成功します」  
 「私のまわりには奇跡が起こります」  
 「すべてのことを感謝します」  
 「イエス様がご一緒ですから」  
 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899  
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



## 祈りの小径(こみち)

Number: 136 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せとの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2

### 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ピリピ人への手紙1章20～25節

20 そこで、わたしが切実な思いで待ち望むことは、わたしが、どんなことがあっても恥じることなく、かえって、いつものように今も、大胆に語ることによって、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストがあがめられることである。

21 わたしにとっては、※生きることはキリストであり、死ぬことは益である。

22 しかし、肉体において生きていることが、わたしにとっては実り多い働きになるのだとすれば、どちらを選んだらよいか、わたしにはわからない。

23 わたしは、これら二つのものの間に板ばさみになっている。わたしの願いを言えば、この世を去ってキリストと共にいることであり、実は、その方がはるかに望ましい。

24 しかし、肉体にとどまっていることは、あなたがたのためには、さらに必要である。

25 こう確信しているので、わたしは生きながらえて、あなたがた一同のところにとどまり、あなたがたの信仰を進ませ、その喜びを得させようと思う。

※ to live is Christ 生きること=キリスト

## 3

### 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

村上宣道牧師

パウロ先生の人生は「金太郎飴」のよう。どこを切ってもキリスト。生活のすべてにおいてキリストしが出てこないほど、キリスト一色の人生。キリスト飴！



## 4

### みことばの解説

使徒パウロの獄中書簡のひとつ、ピリピ人への手紙は通称「喜びの書簡」。どんな試練や迫害の中でも「喜ぶことを選択する」ことを語り続けた背景には、パウロ先生が「ある突破」を経験したからです。それが、この1章20～30節に記されています。

まず使徒パウロは、自分の人生において、「生きるにも死ぬにも、私の身によってキリストがあがめられる」ことを願っています。つまり、恥じることなく大胆に福音を語ることで、たとえ死ぬことになっても、神があがめられるならば、それも益であると断言します。ですから彼の「突破」の一番目は、

①使命における突破です。

何のために生き、何のために死ぬのか、自らの人生の目的を明確に握り、けしてブレることはありませんでした。この世に生を受けたのは、神の栄光のため。罪の赦しのために命を懸けてくださったイエス様の愛に応えることが「私の使命」であると！このような強い使命感をもったクリスチャンが、宣教の働きを前進させ、教会を建て上げてゆきます。

私たちも、そのような「使命における突破」を経験させて頂きたいと祈ります！

もうひとつは、

②板挟みからの突破です。

彼はたとえ死ぬことになっても、それこそ永遠に主と共にいることですからこれ以上の喜びはないと言いつつも、「肉体にとどまる」ことで、あなたがた(ピリピの教会)のお役に立てるならば、生きながらえたい！と告白しています。

この突破は、「個人の願い」と「他者を思う心」という板挟みからの突破です。少しでも教会のために、兄弟姉妹のために、自分のもてるものを共有し、励まし、みんなの(1)信仰を進ませ(2)喜びを得させたい...

人生の「板挟み」を経験する時、きっとその先に「突破」した人だけが体験できる、突き抜けた喜びがあるのでしょうか。